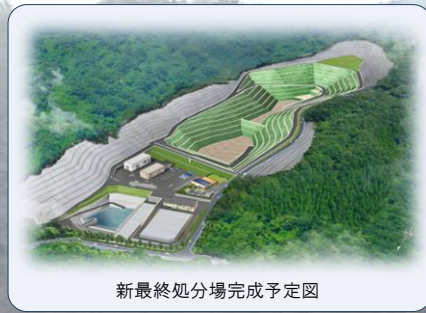


3月に入り、雪が降った日もありましたが、徐々に日が伸び、暖かな日も増えてまいりました。工事現場では引き続き、盛土工事、防災調整池放流塔の築造工事、浸出水処理施設の造成工事を進めております。

今号では、事業団から、道路への滑り止め舗装の設置について、茨城県高萩工事事務所から、県道日立常陸太田線の歩道整備、鮎川周辺の土砂の撤去についてお知らせいたします。



新最終処分場完成予定図



R7.2.28ドローンで撮影

## 道路に滑り止め舗装を設置

工事現場への出入り口付近は、道路がカーブしており、冬季や雨天時におけるなお一層の安全性を確保するため、滑り止め舗装を設置しました。

樹脂系の舗装で、視認性が高く、交差点での注意喚起としても使用されています。



## 施工管理ワーキンググループと有識者会議を開催

3月8日(土)に大学教授等の有識者で構成される「施工管理ワーキンググループ」及び「環境モニタリングに係る有識者会議」を開催しました。

ワーキンググループでは、遮水工の施工性を確保するために、傾斜を緩やかにするなどの造形成状の変更や法面保護工の最適な施工方法について、有識者会議では、昨年のモニタリング結果等についてご審議いただきました。詳細は次号でお知らせいたします。



## 【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

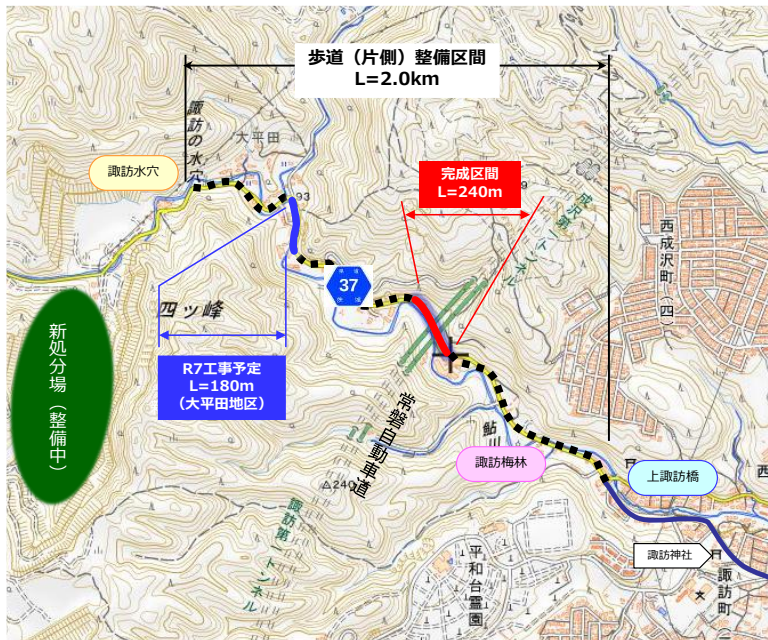
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団のホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)  
又は二次元コードからご確認ください。



県道日立常陸太田線における歩道の整備状況

諏訪地区内の歩道整備については、常磐道高架下付近の一部区間(延長240m)が完成しました。これにより、歩行者が安全で快適に通行できるようになりました。その他の区間も順次進めてまいります。



鮎川『諏訪の水穴』周辺における土砂の撤去

「諏訪の水穴」周辺において、令和5年台風第13号の大雨によって堆積した土砂の撤去を行いました。



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(1月測定)

工事現場からの雨水排水を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未満でした。

● 地下水(1月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。



環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点